

# 城北防災だより

2019/7/18  
20号  
城北地区防災対策協議会  
事務局：城北地区公民館

## 「避難訓練8.25〈住民〉説明会」を開催します！！

説明会の会場は、両日とも城北地区公民館（2階：洋間）です。

■7月27日【土】18:00～19:00

■7月28日【日】9:00～10:00

\*両日とも内容は同じです。1時間程度。

本年度の「避難訓練」の具体的な行動（内容）と同時に、「城北地区の水害リスク」・「住民個々が**「避難判断」**をする場合の、情報収集の仕方や判断方法」を、城北地区の視点からスライドを使って説明させていただきます。

申し込みはいりませんが、町内として参加（避難訓練として）される場合には、公民館へ事前に連絡をお願いします。 \*両日とも、資料は先着40名までとさせていただきます。

ここ数年、河川の氾濫によって多くの人命が失われる悲劇が各地で繰り返されています。昨年「西日本豪雨」の際にも、城北地区住民も、あと一步で真備町のような悲劇に見舞われても不思議ではない状況でした。今年度の避難訓練は、「西日本豪雨」の教訓から学んだ避難訓練を企画しました。



ところで、「水害」は突発的に発生する「地震」とは違い、「降雨」・「河川への流出」・「流下」・「氾濫」と順に発生する、いわば進行性の災害といえます。つまり、降雨から人命を落とすような被害の発生までの**猶予時間**（リードタイム）を有効に活用し、適切な行動をとることにより、**被害を最小限にとどめることが出来る災害なのです。**

行政（公助）は、万能ではありません。

自分や家族、親しい人の命を自分たちで守る仕組み（共助）を理解し、協力して取り組むことが重要です。

今回の「避難訓練〈住民〉説明会」では、「避難とは何か」・「なぜ避難しなければならないのか」・「どのタイミングで避難するのか」・「どこに避難すればいいのか」・「何を持って避難しなければならないのか」・・・等を説明させていただきます。

一般論ではなく、城北地区の災害リスク・防災の取り組みの現状を説明させていただきます。

裏面へつづく



また、個々の「避難判断」の根拠となる情報入手の方法にも触れます。

河川（千代川・袋川・狐川等）の特性、雨の降り方による水害発生危険雨量の目安、排水機場・排水樋管の整備状況、気象状況、夜間なのか昼間なのか、・・・。

現在は、気象状況だけではなく、河川の水位、河川のライブ画像等の様々な情報が入手出来ますが、実際に、「自分にとって意味がある情報は何か？」といった点にも国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所が作成した資料（H24年4月）等を根拠に説明させていただきます。

■流域及び氾濫域の諸元

流域面積	1,190 km <sup>2</sup>
幹川流路延長	52 km
流域内人口	約 20 万人
想定氾濫区域面積	64 km <sup>2</sup>
想定氾濫区域内人口	約 9.4 万人



\*資料が掲載されているアドレス。

- 千代川水系河川維持管理計画 : ([http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/H24\\_river\\_maintenance\\_plan.pdf](http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/H24_river_maintenance_plan.pdf))
- 現状の水害リスク情報や取組状況の共有 : ([http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference3/images/1kai/1kai\\_shiryou-4.pdf](http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference3/images/1kai/1kai_shiryou-4.pdf))

さらに、人間の行動原理として災害発生前は危険性を過少に受け止めがちであり、大雨の中では、屋外に出ること自体を「危険」・「億劫」と感じ「避難しない。」という「判断」が、ごく一般的な住民の行動だと言われています。

西日本豪雨の際に、真備町の住民で生き延びた方のコメントがありました。「一人なら逃げませんでした。でも、隣の〇〇さんが、危険だから逃げよう！と、声をかけてくれたので逃げました。とても感謝しています・・・。」

今回の、水害時の「一時集合場所集合訓練」は、地震の際の「安否確認」を最優先にした避難行動ではなく、班単位（隣近所）での「声かけ避難」を最優先させた「避難訓練」にすることが重要です。その点にも触れます。

■説明会終了後〈5分後〉に「防災教育DVDビデオ」を放映します。時間の都合のつく方はご覧ください！

タイトル：「熊本・大阪北部大地震から学ぶ」

**避難生活の心構え**： DVDビデオ（約24分間）

避難生活中の「トイレ」や「エコノミークラス症候群」の問題、「女性」や「障害者」(発達障害)に配慮した避難所のあり方、在宅避難のポイント(備蓄)等が、被災者自身の体験をもとに分かりやすく紹介されています。

事前に視聴しましたが、私自身とても参考になりました。